

つばた

議会だより

No.145

2018.4.5



3月会議

健やかな子どもを産み育てる環境づくりを… 2

平成30年度当初予算 一般会計126億円を可決…… 4

クローズアップ アンズを使って特産品を開発…… 6

委員会審議 全国瞬時警報システム新型受信機に更新…… 8

いっぱん質問 今後の町債発行と町税増収の施策はなど 7人が登壇… 12

未来へ向かって

(条南小学校)

表紙撮影：議会広報調査特別委員 竹内 竜也

3月会議

妊娠・出産から子育て期まで

健やかな子どもを

産み育てる環境づくりを

3月会議を5日から14日までの会議期間で開催した。

初日に平成30年度一般会計・特別会計・事業会計予算、29年度補正予算、条例の制定・改正など48件の議案、専決処分に係る承認2件が提出され、2日目に町政全般について7人が一般質問を行った。

議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決し、請願2件を採択、1件を不採択、意見書2件を可決した。

施政方針

町

長は施政方針で「町政運営の基
本方針として、

30年、50年後を見据えた『子の世代、孫の世代のためのまちづくり』と『心豊かに今を暮らすためのまちづくり』の未来と今、2つのまちづくりをどちらも力強く押し進めていく。まちづくりの将来像に掲げた『住んでみたいずっと住みたいふるさとつばた』を推進する取り組みを、継続的にそして、丁寧、確実に推進していきたい」と所信を表明した。



▲楽しく遊んでいるよ（中条南保育園）

平

成30年度の一般会計当初予算では、前年度に比べ児童福祉に関する予算を含む民生費が20・5%の増であり、結婚・妊娠・出産しやすい環境の整備と子育て支援を充実させた予算計上となっている。30年度新たに行われる主な施策は、左記のとおりである。

◆出産予定日を過ぎた妊婦健診にも助成
4039万円

◆広域版子育てアプリ（石川中央都市圏共同運用）
4万円

◆小児初期救急医療（石川中央都市圏共同運用）
7万円

◆多胎児家庭に子育てサポート支援センター無料利用券を交付
6万円

◆中条南保育園民営化
2億7588万円

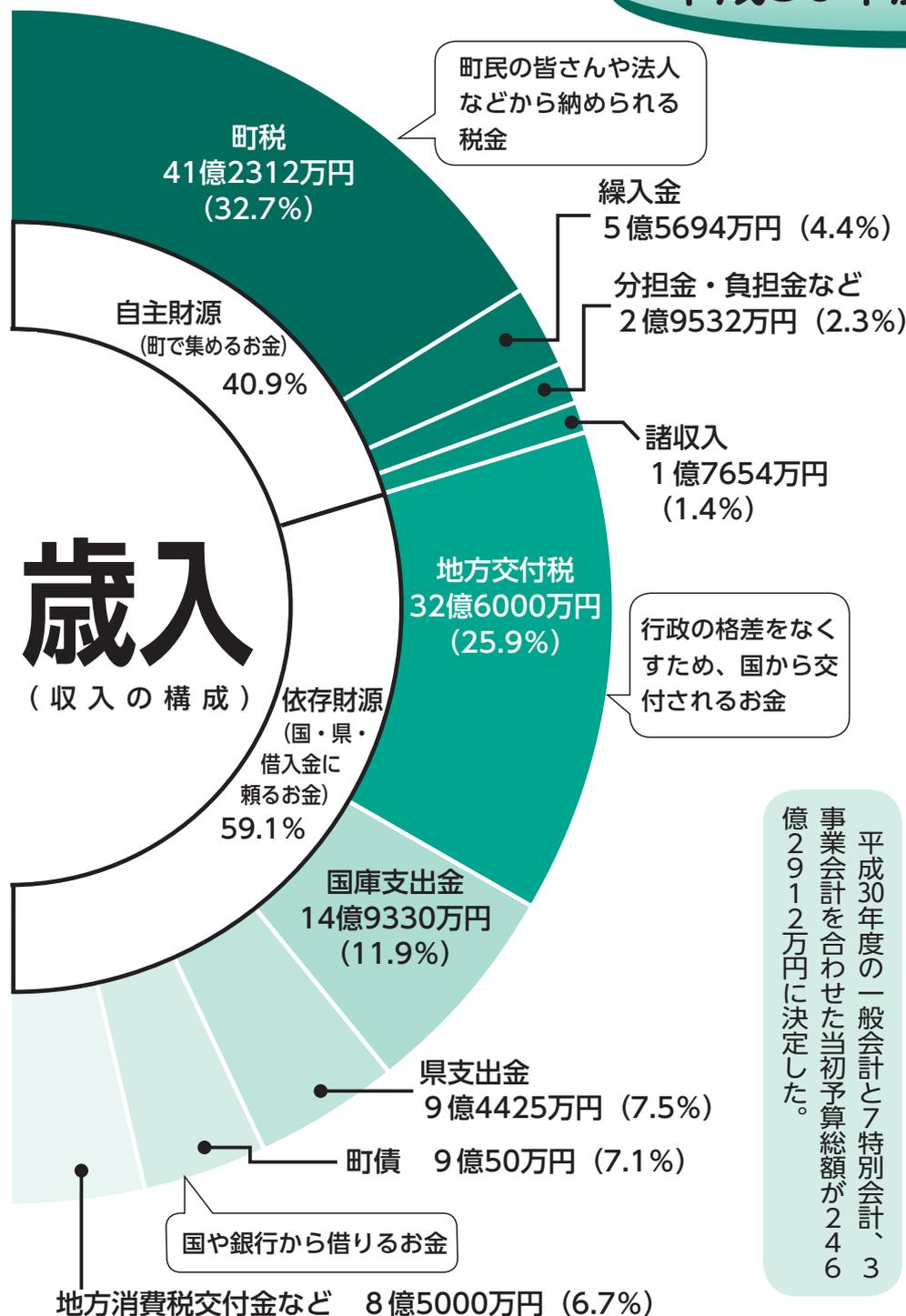
◆笠野小学校区放課後児童クラブ施設整備
1066万円

平成30年度予算成立

一般会計前年度比3・9%増

126億円を可決

平成30年度の一般会計と7特別会計、3事業会計を合わせた当初予算総額が246億2912万円に決定した。



●事業会計●

(全員賛成)

会計	予 算	前年度比%
河北中央病院	収益的収支	13億1941万円 3.2
	資本的収支	1億7679万円 ▲5.7
水 道	収益的収支	7億4351万円 ▲7.0
	資本的収支	3億2969万円 ▲0.1
下 水 道	収益的収支	15億1668万円 ▲1.7
	資本的収支	16億8996万円 ▲4.0

※事業会計は支出額を計上
※金額はすべて1万円未満を切り捨てて記載

●特別会計●

(全員賛成)

会計	予 算	前年度比%
国民健康保険	32億9519万円	▲13.7
後期高齢者医療	3億6067万円	13.0
介護保険	24億4439万円	1.8
簡易水道事業	444万円	▲25.6
バス事業	8763万円	▲20.7
ケーブルテレビ事業	6034万円	34.4
河合谷財産区	35万円	0.0

●一般会計● (賛成14人・反対1人)

前年度比 20.5%

高齢者や児童福祉、保育園の運営などに使われるお金

民生費
44億2228万円
(35.1%)

町債として借りたお金の返済など

公債費
17億9557万円
(14.3%)

前年度比 14.1%

戸籍や選挙、徴税などに使われるお金

総務費
13億3429万円
(10.6%)

道路・公園・河川の建設管理、都市整備などに使われるお金

土木費
13億869万円
(10.4%)

教育費
12億119万円
(9.5%)

前年度比 29.0%

ごみ処理や各種健診など

衛生費
11億8549万円
(9.4%)

農林水産業費 5億2118万円 (4.1%)

消防費 4億4868万円 (3.6%)

商工費
2億507万円 (1.6%)

議会費
1億4795万円 (1.2%)

災害復旧費など
2956万円
(0.2%)

歳出

(支出の構成)



賛成

緊急度の高い取り組み、福祉関係の充実、それぞれの目的に応じながら経費の抑制、効率化が図られている。今後のさらなる経営健全化に向けた行政運営に努められることを期待する。

荒井 克議員



反対

町道庄能瀬線と町道竹橋大坪線道路改良事業は不要不急の事業なので反対である。また、安保法制の成立により自衛隊員の命が危険にさらされることになるので、募集に手を貸すべきではない。

塩谷 道子議員

平成30年度一般会計



平成30年度、新たに行われる事業など、一部を紹介します。

こんなことに使われます クローズアップ

アンズを使つて 町の特産品を開発

25万円

体験型観光交流公園の植栽事業に使われるアンズの育苗を継続し、またアンズを利用した特産品の開発を委託する。



▲花も実も楽しみやね

県内初！

スマホで公金収納

13万円

平成30年度から新たにスマートフォンを利用しての公金収納サービスを開始し、町税の収納対策を強化する。



▲いつでもどこでも

自殺対策計画を 策定

35万円

伝えて欲しい、その言葉。



▲毎年3月は自殺対策強化月間

誰もが自殺対策に必要な支援が受けられるよう、自殺対策計画を策定する。

条例

空家等の適正管理に 関する条例を制定

空き家などの適切な管理を図るため、町・所有者・町民の責務や必要な行政指導などを定める。



(全員賛成)

河北中央病院 個室使用料を改正

平成30年4月から、個室病床Cを使用する際の1日当たりの室料を、近隣公立病院を参考に1620円から3240円に改正する。

反対
入院個室Cの2倍の値上げは、患者にとっては負担が大きくなるので反対である。
塩谷 道子議員

個室A (5,400円)	シャワー、トイレ、テレビ(無料)、冷蔵庫(無料)、電話、洗面、ロッカー
個室B (4,320円)	トイレ、テレビ(無料)、冷蔵庫(無料)、電話、洗面、ロッカー
個室C (3,240円)	テレビ(有料)、冷蔵庫(有料)、洗面、ロッカー

(賛成14人・反対1人)

健診受診率向上へ

健康ポイントを付与

9万円



▲健診を受けて
50ポイントGet!

ドレミファスタンプ会と連携し、40歳から74歳の国民健康保険特定健診受診者と後期高齢者健診受診者を対象に、健康ポイントを付与する。

通学路を安全に

加賀爪19号線を整備

3151万円

町通学路交通安全プログラムによる合同点検結果に基づき、歩道などを整備し、通学路の安全確保を図る。



▲歩きやすくなるね

消防車両に

ドライブレコーダーを設置

45万円



▲トラブルに備えて

消防車両5台と分団消防ポンプ車9台にドライブレコーダーを設置し、災害現場への出勤途上や交通事故などのトラブル発生時の状況確認を図る。

学校図書館システムを導入

1089万円

新たに学校図書館システムを導入し、学校図書館と町立図書館をつなぎ、利便性を図る。
また、図書貸出カードのデザインも一新する。



▲読みたい本が見つかるよ

国民健康保険

町から県に移行

持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法などの改正により、国民健康保険の財政運営の責任主体が町から県に移行することに伴い、必要な条項を改正する。

反対

国保の都道府県化には、国保税が引き上げられる仕組みがあり、この制度導入のための条例改正には反対である。
塩谷 道子議員

(賛成14人・反対1人)

29年度一般会計補正予算

1億3455万円を増額

(全員賛成)

総額129億8318万円に

29年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1億3455万円を増額補正し、総額129億8318万円とした。
緊急に必要な費用のほか、事業費、負担金などの確定による増減調整が主なものである。
7特別会計、2事業会計も全員賛成で補正予算を可決した。

総務産建

全国瞬時警報システム 新型受信機に更新

-総務課-



▲早い情報で安心を

Q 更新理由は。
A 導入から7年経過し、老朽化している。さらに情報伝達機会や情報量の増加により、機器への負荷も増大している。

Q 防災無線との関連は。
A 国から町への防災行政無線の自動起動装置に流れる仕組みとなっている。

上下水道事業官民連携に向け コンサルタントに委託

-上下水道課-



▲今後どう変わる？

Q 委託内容は。
A 包括的民間委託の募集に向けた公募、募集要項、要求水準書作成など、さまざまな発注支援業務をコンサルタントに委託する。

Q 民間への全面的な委託となるのか。
A 管理・運営主体はあくまでも町であるが、平成30年度に行うヒアリングを通して検討していくことになる。

インターネットで

議会中継を録画配信

-議会事務局-

Q 配信方法は。
A YouTubeを予定しており、アップロード後はいつでも見ることができ。

Q YouTube用に新たに撮影するのか。
A ケーブルテレビで配信するために撮影した映像をインターネットでも配信する。

※包括的民間委託

一定の要求水準（性能要件）を満足する条件で、上下水道の運転・維持管理について複数年にわたる民間事業者（受託者）の裁量に任せる発注方式。

委員会 審議

各常任委員会で活発に議論されたものを紹介します。



▶開かれた議会を目指して



▲大会に向けて一本集中!

- Q** 外部指導員の要件は。部活動の指導をしていた教員OBである。
- A** 外部指導員の要件は。部活動の指導をしていた教員OBである。
- Q** 多くある部活動の中で、2人では少なすぎないか。
- A** 県のモデル事業であり、津幡中学校、津幡南中学校の特定の部活動に配置されることになる。



▲進むグローバル教育

- Q** 留学生の出身国は。平成30年3月現在では、モンゴル、マレーシア、カンボジアである。
- A** 留学生の出身国は。平成30年3月現在では、モンゴル、マレーシア、カンボジアである。
- Q** 国際理解教育の内容は。留学生は日本語、英語ともに堪能な方々であり、出身国の文化や外国語の国際理解教育を小学校で行う予定である。
- A** 国際理解教育の内容は。留学生は日本語、英語ともに堪能な方々であり、出身国の文化や外国語の国際理解教育を小学校で行う予定である。

町議会では2部門の常任委員会に分かれ審議しています。

総務産業建設 (総務・財政・税務・議会・監査・消防・土木・農林・労働・商工・上下水道など)

◎八十嶋孝司◎酒井義光 竹内竜也 西村 稔 多賀吉一 向 正則
谷口正一 河上孝夫

文教福祉 (民生・衛生・保険年金・福祉・教育・病院)

◎荒井 克◎道下政博 森川 章 井上新太郎 森山時夫 角井外喜雄
塩谷道子 洲崎正昭

(◎委員長 ○副委員長)

文教福祉

退院後の日常生活を支援 訪問リハビリを開始

-河北中央病院-

- Q** 訪問リハビリにはどのようなスタツフが関わるのか。
- A** 患者の状態により、作業療法士または理学療法士が訪問する。
- Q** どのような方が対象となるのか。
- A** 退院後の日常生活を支援するために、リハビリ指導を必要とする方である。
- Q** 将来的な取り組みは。送迎による通所リハビリも考えている。
- A** 将来的な取り組みは。送迎による通所リハビリも考えている。

中学校の部活動に 外部指導員を配置

-学校教育課-

石川高専の留学生と連携 国際理解教育を実施

-教育総務課-



▲リハビリで元気回復

みなさまからの

請願3件を審査

3月会議で審査された請願・陳情の結果をお知らせします。
請願・陳情は、町政に対し意見や要望があるとき誰でも提出することができます。
請願には紹介議員が必要ですが、陳情には必要ありません。

採択

所有者不明の土地利用を求め

◎請願者 公明党津幡支部津幡地区委員

紹介議員 高谷 芳明
道下 政博
(全員賛成)

主旨

平成28年度の地籍調査では、登記簿上所有者が確認できない土地が2割に上るとされた。対応策として、土地収用法による不明裁決制度や民法の不在者財産管理制度があるが、時間と労力を要する。所有者不明土地の利用促進を図るための制度を構築すべきだ。

採択

洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める

◎請願者 公明党津幡支部津幡地区委員

紹介議員 高谷 芳明
道下 政博
(全員賛成)

主旨

国土交通省は中小河川の豪雨対策強化のため、緊急治水対策プロジェクトをまとめた。しかし、おおむね3年の時限的措置とされ、河道掘削の対策箇所も限定されている。地方自治体の要望を踏まえ、活用しやすい施策となるよう政府に予算確保を求める。

採択された上記の2件の請願は
意見書を内閣総理大臣ほか
関係機関に送付しました

不採択となった請願

生活保護の生活扶助費を削減しないことを求める

◎請願者 津幡町越中坂

西村 善男
紹介議員 塩谷 道子
(賛成2人・反対13人)

賛成

食費を削るなど、受給者は現状でも苦しい生活を強いられている。他の社会保障制度とも関連しており、経済格差が拡大する中で削減すれば、生活困窮に陥るのは明らかである。保護されるべき人の捕捉こそが必要ではないか。

塩谷 道子 議員

反対

自立を促すための一時的な保障制度であるべきだ。不正受給が顕在化するなど、人の弱さを助長する側面があることも問題だ。人間の幸せには努力こそが密接に関係する。財政状況を考えれば、制度の見直しは喫緊の課題だ。

井上新太郎 議員

専決処分

日本列島に寒波襲来 除雪費総額2億2892万円に



○除雪対策費
 1月19日付専決 7100万円
 2月15日付専決 8198万円
 今冬の除雪費が当初予算額を大幅に超えたことに伴い、緊急に必要な措置として、1月19日付と2月15日付で除雪費の追加をそれぞれ専決処分で行った。
 (以上、全員賛成)

※専決処分
 議会在議決すべき事項を、議会の招集を待たない緊急な場合などに、町長が議会に代わって意思決定をすること。専決処分の後には議会に報告し、承認を求め議案の提出が必要となる。
 なお、当町は通年議決処分は限りなく行えないが、災害や除雪など突発的な事故により応急に必要な予算などは例外的に認めている。

●最大積雪量 (単位: cm)

観測地点	12/18	1/12	2/8
津幡町役場	25	56	100
河合谷町民センター	50	88	150
俱利伽羅	45	130	182

3月会議の審議結果

(賛否の分かれたもののみを掲載しています)

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退 除斥…除

議案 件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		森川章	竹内竜也	井上新太郎	八十嶋孝司	西村稔	荒井克	森山時夫	角井外喜雄	酒井義光	塩谷道子	多賀吉一	向正則	道下政博	谷口正一	洲崎正昭	河上孝夫
一般会計予算…平成30年度当初予算で126億円を計上する。	可決 賛14・反1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○
国民健康保険税条例の一部改正…国民健康保険の財政運営の主体が町から県に移行することに伴い、必要な条項を改正する。	可決 賛14・反1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○
河北中央病院の設置等に関する条例の一部改正…個室病床室料の適正化を図る改正を行う。	可決 賛14・反1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○
生活保護の生活扶助費を削減しないことを求める	不採択 賛2・反13	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	-	×	×	×	×	×

※議長は採決に加わらないため「-」で表示

議会を傍聴しましょう

議会の会議録は町議会ホームページで見ることができます。

◎町政一般質問は、年4回(3月、6月、9月、12月)行われます。

お問い合わせは、議会事務局 (Tel.288-6410)

問 答

一般質問とは、議員が町政全般について町長など執行機関に考えや方針を問うものです。制限時間は1人30分以内で、一問一答で行われます。



西村 稔 議員

政 財

今後の町債発行と 町税増収の施策は

安定した
財政運営に努める

西村 議員

今後の町政で、庁舎改築、温水プール、体験型観光交流公園、新駅などの大型事業が計画されているが、どれくらいの町債発行を予定しているのか。

また、町税増収のための施策に対し、どう取り組むのか。

矢田 町長

平成29年度、30年度と町債発行額を10億円以内にとどめ、今後の大型事業の実施にも対応できるよう、中長期的な財政の健全化にも配慮しており、引き続き計画的な町債発行を心がける。

町税の増収施策は、定住人口の増加と企業誘致の推進、未納解消に向け、積極的に関連事業の実施を図りたい。今後も安定した財政運営に努めつつ、各事業の推進を図っていく。



▶ 体験型観光交流公園
アクセス道路を整備

マラソンロードを 指定せよ

公園などでの ランニングを推奨したい

健康づくり



西村 議員

健康とマラソンが最近ブームになっているが、夕暮れどきに車道のそばを走っている人を数多く見かけ、非常に危険を感じる。

安心して走ることができるマラソンロードの指定と整備を求める。

矢田 町長

当町には、県森林公園や街中の大きな公園など、比較的安全に安心して走れる場所があり、町としてはそれらの場所でのランニングを推奨したい。公道を走る愛好者には、ホームページや広報などで交通安全上の注意の啓発、周知を図っていく。

その他の質問

Q 大坪地区工場用地の取得金額決定の基準と経緯は。

A 将来の売却予定価格を踏まえて決定した。

Q 県森林公園のリニューアルを提案せよ。

A 県に要望していく。

Q 水道料金の漏水要因による減免基準を緩和せよ。

A 現時点では改定する必要はない。

Q 上下水道事業民営化への取り組みは。

A 検討を重ねている。



塩谷道子 議員

一般質問

町政を

就学援助

小学校入学前にも適用せよ

検討を重ねている

塩谷 議員
当町では、平成29年度から新中学生に対し、就学援助費として入学準備金を3月に支給している。文部科学省も入学準備金の必要性を認め、30年度からの就学予定者も含めて対応できるようにした。

竹田 教育部長
平成28年度に就学援助制度の見直しを行い、29年度の中学校入学者を対象に新入学学用品費を入学前に給付した。



▲うれしい入学式を

教員多忙化

勤務時間の軽減を求める

解消に向けて取り組む

塩谷 議員

平成29年の教員勤務実態調査では、長時間勤務について看過できない深刻な事態であることが報告されている。

止、学級定数をすべて35人以下とし、小学1年生は30人以下とすること、報告書類の削減などに取り組むべきである。

吉田 教育長

学力調査は、教職員の負担とまらない方法で継続して実施する。

35人以下学級の実施は、その有効性、必要性を検討する。



▲職員室で仕事をする先生方

その他の質問

Q大雪時の休校判断は、校長の判断で必要な措置を取ることができるとは思います。



道 下 政 博 議 員

レスリング

合宿候補地 参加への考えは

現在のところ難しい

道下議員

リオ五輪で金メダルを獲得した当町出身の川井梨紗子選手は、平成29年末の全日本大会では妹の友香子選手とともに金メダルを獲得した。2020年東京五輪への期待は大きい。

町として機運づくりのためにも、レスリングの拠点化と合宿候補地参加を実現すべきである。

矢田町長

レスリングの拠点化は、組織体制やジュニアの育成を含めた指導者など、人材が整う方向に進めば検討する。

オリンピック合宿誘致に係る練習施設は、国際競技連盟の基準を満たすことが要件となり、そのほかにも、宿泊施設が隣にあることはもちろんのこと、体育施設での冷暖房設備やトレーニング室も必要となる。当町には要件を満たした施設がなく、現在のところ難しい。



熱狂を再び！

小学校入学前の 支給を実現せよ

検討を重ねている

就学援助



▲ランドセルを背負って

道下議員

経済的な事情で必要な学用品をそろえられないまま入学する子どもがなくなるように、就学援助制度を変更すべきである。

入学前支給が実現されれば、入学準備に必要なランドセルなどの費用に充てられ、保護者にとっては一時的な出費を抑えることができる。早期の実現を求む。

竹田 教育部長

就学援助制度の見直しを行い、平成29年度中学校入学者を対象に新入学学用品費を入学前に給付した。
小学校入学者への前倒し支給も、検討を重ねている。

その他の質問

Q 大規模災害限定の消防団員の導入を。

A 必要性を検討する。

Q 心肺蘇生教育を推進せよ。

A AED（自動体外式除細動器）講習の機会を充実する。



角井外喜雄 議員

地域の防犯対策として 設置せよ

防犯カメラ

検討していく

角井 議員

小中学校、保育所、学
童保育など、子どもたち
が集う施設に防犯カメラ
が設置されていない。通
学路を含め、防犯対策と
して設置せよ。
また、地域、商店街、
区などが要望した場合の
補助制度を策定せよ。



さらなる安全を

矢田 町長

学校、保育園では玄関
を施錠し、子どもたちの
安全を確保しているが、
さらに防犯対策が効果的
となるよう施設への設置
を検討していく。
また、平成26年にパピ
イ1商店街が環境整備事
業等補助制度を利用して
防犯カメラを設置してい
る。

危険空き家

解体に対する

補助制度の策定を

先進自治体を参考に

制定を目指す

角井 議員

町危険空家等対策計画
案が示され、解体費用の
一部を所有者に助成する
と説明があった。

場合、民間事業者を含め
た解体費用の補助制度を
創設し、行政が中心とな
り、跡地利用も含めた計
画を策定せよ。

梶田 環境水道部長

経済的理由で所有者が
解体費用を出せない場合、
町が中心となって地元区
と跡地の有効利用につい
て協議し、解決策の助言
ができないか考えている。
解体費用に関する補助
制度は、先進自治体の制
度を参考に、制定を目指
していく。



▲空き家対策をどう進めるか

その他の質問

Q 所有者不明の土地へ
の対応は。

A 国の動向を注視する。



竹内 竜也 議員

病児保育

拡充に向けた考えは

サービスの充実を

図っていく

竹内 議員

病児保育は、病気であっても、子どもらしく生き生きと過ごせる保育環境を保障することが本質である。

平成27年度から、かほく市、内灘町との共同運営による病児保育室の利用を開始しているが、こ

の3年間で見えてきた課題と、質と量の拡充に向けた考えは。

矢田 町長

当町の児童が平日に利用できる、金沢医科大学病院内の病児保育室「すまいる」の平成28年度の利用件数は142件で、29年度も同程度の利用が見込まれている。

当町では29年度、病児・病後児保育利用料の助成制度を創設し、病児保育事業の充実を図っている。

現状では具体的課題は見られないが、今後子育て世帯のニーズにあったサービスの充実を図っていく。



▶安心して預けて

交付事業を どう進めるのか

一層の周知、普及、浸透を図る

ヘルプカード



▲カードで支え合い

竹内 議員

支え合いによる安心社会を実現すべく、ヘルプカードの認知度を高める必要がある。一方、当町の交付実績は48件で、広がりをおく。

東京都が発案したヘルプマークが分かりやすいデザインで、これを活用したカードを標準様式化する動きが広がっている。この動きを捉え、交付事業をどう進めるのか。

小倉 町民福祉部長

当町では、ヘルプカードの存在と活用方法が十分知られていない現状から、広報媒体や障害者団体などを通して、改めて周知を図るとともに、カードの交付対象を広げること検討している。

また、カードの標準様式を東京都が考案したヘルプマークを併記したデザインに変更し、より一層の周知、普及、浸透を図りたい。

その他の質問

Q 教職員多忙化改善推進協議会が示した素案への考えは。

A 有効な方法を検討していく。

Q 投票日後も選挙公報をホームページに掲載せよ。

A 考えていない。



八十嶋孝司 議員

除雪対策

大型除雪機の免許取得に助成を

現状を調査、研究する

八十嶋 議員

今回の豪雪により町民から除雪の遅れが提起された。遅れの要因として、大型除雪機のオペレーター不足がある。

町として大型除雪機免許取得に助成をするなど対策を講じるべきと考え、町の対応は、オペレーター確保のための免許取得や除雪機械への助成制度は、現状を調査、研究したい。また、自助・共助の観点から地域住民に除雪協力を求めている。

矢田 町長

今回のような短時間の豪雪では、除雪業者数や除雪機械の台数が根本的に足りないことが要因であると考える。



夜も徹して

保育園

笠谷、寺尾、萩坂

3園の今後の計画は

入園児童数の動向を見て

具体的に検討する

八十嶋 議員

町中心部の町立保育園の民営化が進んでいる。一方で、笠谷、寺尾、萩坂の3園は少子化から園児も少なく、一部施設も老朽化している。町は将来的に統合も示

唆しているが、地域の子育て世代からはさまざまな意見もあり、将来的には意見の集約も必要となる。

3園の今後の計画を示

羽塚子育て支援課長

笠谷、寺尾、萩坂の3園と、現在休園中の竹橋保育園は、統合も含め、公立、民営の両面で運営整備を検討する。

検討時期は現時点では決まっていないが、今後の入園児童数の動向を見た上で、具体的に行動しなければならぬと考えている。

保護者などの意見を聞き、充実した集団保育ができる環境を整備したい。

その他の質問

Q 高齢者宅の屋根雪下ろしと除雪対策は。
A 地域住民による生活支援体制の構築を目指す。



▲保育環境の整備を（萩坂保育園）



森川 章 議員

倶利伽羅

観光振興策を示せ

活性化につながる 取り組みを実施する

森川 議員

平成28年6月会議で行った「倶利伽羅地区を小矢部市と連携し、日本遺産に登録し、魅力を最大限に発信せよ」という一般質問に対して、その後の経過等と、今後の倶利伽羅地区の観光戦略の考えや取り組みを示せ。

河上 産業建設部長



戦いの記憶を観光に

平成30年2月、倶利伽羅をブランド化するストーリーで、「くりから紀行 戦いの記憶と祈りにふれる峠の旅路」と題して文化庁へ日本遺産登録申請を行った。観光振興は、小矢部市と協力しながら事業を行うなど、さまざまな施策を実施している。さらに、30年は倶利伽羅山開山1300年に当たることから、町観光協会や商工会が行う記念事業をPRし、広く情報発信を行う。今後、交流人口の拡大や地域の活性化につながる取り組みを実施していく。

生活情報広報を 充実せよ

緊急情報告知の 役割を確保していく

メール配信

森川 議員

津幡町メール配信サービスの登録者は何人いるのか。また、大雪などの災害時には、緊急情報だけでなく、さまざまな生活情報や交通機関情報、公共施設に関する情報もメール配信サービスを活用し、情報発信の充実を図れ。



▲まずは登録！

石庫 総務部長

メール配信サービスは平成18年9月から実施しており、30年2月末現在の登録者数は3609人で、緊急情報に限定することで、緊急事態であると直感的に分かるようになっていく。普段の生活情報は、町広報紙、ホームページやフェイスブック、ケーブルテレビなどを活用し、メール配信サービスは緊急情報の告知という一義的な役割を確保していきたいと考えている。

その他の質問

Q 障害者のシンボルマークを行政窓口に掲げよ。

A 障害者団体等から意見を聞き、必要性を検討していく。

第32回 町村議会広報全国コンクール

つばた議会だより 奨励賞



全国入賞議会

入選

- 最優秀賞 埼玉県寄居町議会
- 優秀賞 山形県川西町議会
- // 岩手県金ケ崎町議会
- // 福岡県大刀洗町議会
- 優良賞 埼玉県小川町議会
- // 宮城県利府町議会
- // 群馬県玉村町議会
- // 宮城県川崎町議会
- // 宮城県加美町議会
- // 高知県越知町議会

表紙写真賞

- 金賞 高知県大月町議会
- 銀賞 福島県棚倉町議会
- 銅賞 滋賀県竜王町議会

奨励賞

- 企画・構成部門 **石川県津幡町議会**
- // 静岡県清水町議会
- // 鳥取県北栄町議会
- 編集・デザイン部門 岩手県軽米町議会
- // 福島県埴町議会
- // 鳥取県日吉津村議会
- 言語・文章部門 福島県浅川町議会
- // 京都府与謝野町議会

平成29年度の第32回町村議会広報全国コンクールで「つばた議会だより140号」（平成29年1月1日発行）が5年ぶりに「奨励賞」を受賞しました。

今回は、全国から279点の応募があり、最優秀賞、優秀賞3点、優良賞6点、表紙写真賞3点を選ばれ、当町議会だけが選ばれ、当町議会だよりは、入選には及ばないものの次回コンクールでの入選に向けて一層の研さんを薦める「奨励賞」8点の一つに選ばれたものです。

さらに、町民の皆さまに身近で、分かりやすく読みやすい議会広報となるよう、編集委員一同、頑張っています。

スマホで議会だよりを



App StoreまたはGoogle Playからダウンロードしてください。

4月29日に県森林公園緑化の広場で行われる「県民みどりの祭典」で町議会県森林公園活性化対策特別委員会は、千成・大ヒョウタンのほか、ゴイヤ、サルビア、ペゴニアなど合計840鉢を10時30分から配布しますので、ぜひご来場ください。

840鉢

無料配布

4/29
県民みどりの祭典で
ゴイヤ、
ヒョウタン苗など

議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀（本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く）
- 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
- 町民や団体が議員に寄附などを求めること

このほか、議員活動に対して法律上の制限があります
各種会合への出席依頼には参加費を必ず明記してください

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします



津幡町議会HP

みんなで楽しくやってみます!!

津幡洋裁サークル

サークル紹介第34回

マイペースで洋裁



私たちのサークルは、今年9年目を迎えました。会員は15人、平均年齢72歳の洋裁の好きな仲間が集まりです。

通常の活動のほかに、研修会、講習会などを開催し、豊富な話題で交流し、生涯学習の場として楽しくやっています。

代表

大島 百合子
おおしま ゆりこ

専任の講師がいないので、会員相互の知恵を集めて活動し、作品が完成したときの喜びを皆で味わっています。

昔、懐かしい足踏みミシンの音色、縫い目の正確さは素晴らしく愛着を感じます。

津幡地区の方で共通の趣味・興味を持たれる方どうぞ!!

◆活動場所と時間

津幡地域交流センター
第1・2・3火曜日
9時～12時

第4火曜日
9時～16時

◆連絡先

213-7755
(大島)

表紙の題字は

萩野台小学校6年

寺西 藍碧さんの作品です。

津幡町のいいところは、自然が豊かなところと優しい人がたくさんいるところです。私も津幡町の人のように優しく笑顔で一日一日を過ごしていきたいです。もちろん自然も大切にしたいです。



▲議論を重ねて

議会広報調査特別委員会

- 編集委員長 荒井 克
- 副委員長 八十嶋孝司
- 委員 森川 章
- 竹内 竜也
- 井上新太郎
- 塩谷 道子

議会だよりの感想をお寄せください...